

平成26年度

南幌町教育委員会の活動状況に関する  
点検・評価報告書

平成27年8月

南幌町教育委員会

<目 次>

1	点検・評価の基本的な考え方	1
	(1) 趣 旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の方法	
2	教育委員会の活動状況	2
	(1) 教育委員会の開催状況	2
	(2) その他の活動状況	7
3	教育行政執行方針に基づいた主な施策・事業の 取組状況、成果・課題等	8
	(1) 学校教育	8
	(2) 社会教育	14
4	まとめ	17

## 1. 点検・評価の基本的な考え方

### (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、南幌町教育委員会が行った点検・評価をまとめたものです。

### (2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「平成26年度教育行政執行方針」に示された施策の柱13項目に基づき実施した事務事業としました。

- ① 幼児教育の推進
- ② 確かな学力の向上について
- ③ 豊かな心と健やかな体の育成について
- ④ 開かれた学校づくりと教育活動の改善について
- ⑤ 教育環境・教育施設の充実について
- ⑥ 南幌高校に対する支援
- ⑦ 姉妹町児童交流の推進
- ⑧ 家庭や地域の教育力の向上について
- ⑨ 青少年教育の推進について
- ⑩ 成人教育の推進について
- ⑪ 芸術・文化活動の推進について
- ⑫ スポーツ活動の振興について
- ⑬ 社会教育関係施設の整備について

### (3) 点検・評価の方法

法を受けて、南幌町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行いました。

## 2. 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会の開催状況

南幌町教育委員会の会議は、毎月1回（定例）を基本に開催するほか、必要に応じ臨時会議を開催しています。この会議において、5名の教育委員が教育行政の基本方針の決定など様々な案件について審議しています。

種別	開催日	付議案件等
定例	平成26年4月17日	(報告) ・平成26年度南幌町小中学校教育の推進について (その他) ・平成25年度南幌町高等学校通学費補助の実績について ・多良木町・南幌町児童交流学習の日程について ・社会教育施設の工事日程について ・南幌中学校耐震改修工事等について
定例	平成26年5月15日	(報告) ・平成26年度小中学校児童生徒在籍状況について (議案) ・南幌町学校給食運営委員会委員の委嘱について (その他) ・中学生国際留学プログラム事業の参加者・日程・業者決定について ・北海道中学生バレーボール選抜優勝大会男子バレーボール部優勝について ・社会科副読本について ・南幌町農村環境改善センター耐震等改修工事の入札結果について ・町民プールの基本設計業務委託受託者の決定について
定例	平成26年6月19日	(報告) ・第2回議会定例会一般質問について (議案) ・南幌町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について

種別	開催日	付議案件等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町立学校職員服務規程の一部を改正する規則制定について (その他)</li> <li>・旧夕張太小学校跡利用について</li> <li>・「平成 26 年度給食センターの概要」について</li> <li>・小中学校の耐震化率について</li> <li>・中体連の結果について</li> <li>・生涯学習センター耐震等改修工事の入札結果について</li> <li>・「子どもたちのネットモラルを考える集い」の開催について</li> </ul>
定例	平成 26 年 7 月 17 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>(その他)</li> <li>・町民プールの経過について</li> <li>・中体連空知大会結果及び全道大会予定について</li> </ul>
定例	平成 26 年 8 月 20 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道第 5 採択地区教科用図書採択教育委員会協議会の決定事項について</li> <li>・平成 25 年度南幌町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について</li> <li>(その他)</li> <li>・小中学校児童生徒在籍状況について</li> <li>・中体連全道大会の成績結果について</li> <li>・中学生国際留学プログラム事業の経過報告について</li> <li>・多良木町との児童交流学習事業(訪問)の実施報告について</li> </ul>
定例	平成 26 年 9 月 18 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について</li> <li>(報告)</li> <li>・第 3 回議会定例会一般質問について</li> </ul>

種別	開催日	付議案件等
		<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中体連全国大会の成績結果について</li> <li>・ 中学生国際留学プログラム事業の帰国について</li> <li>・ 大雨特別警報による臨時休校について</li> <li>・ 社会教育施設関係の工事進捗状況について</li> </ul>
定例	平成 26 年 10 月 15 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度南幌町教育文化功労賞並びに奨励賞の決定について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民テニスコートの閉鎖について</li> <li>・ 南幌町農業協同組合からの給食食材寄贈について</li> </ul>
定例	平成 26 年 11 月 17 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南幌町生涯学習センター条例の制定について</li> <li>・ 南幌町生涯学習センター条例施行規則の制定について</li> <li>・ 南幌町公民館条例を廃止する条例制定について</li> <li>・ 南幌町公民館の組織等に関する規則を廃止する規則制定について</li> <li>・ 南幌町公民館並びに南幌町農村環境改善センター管理運営規程を廃止する規程制定について</li> <li>・ 南幌町公民館図書室利用・運営に関する規程を廃止する規程制定について</li> <li>・ 南幌町公民館図書室読書資料の整理に関する要綱の廃止について</li> <li>・ 南幌町農村環境改善センター条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 南幌町農村環境改善センターの管理等に関する規則の制定について</li> <li>・ 南幌町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 南幌町社会教育審議会条例施行規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 南幌町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について</li> </ul>

種別	開催日	付議案件等
		(その他) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の公表について ・小中学校児童生徒在籍状況について ・平成26年度成人式について
定例	平成26年12月19日	(議案) ・教育委員長の選任及び委員長職務代理者の指定について (その他) ・平成26年度全国学力・学習状況調査結果について ・12月17日悪天候による小中学校の臨時休校について ・中学校部活動全道新人大会について ・南幌町仲間づくり「子ども会議」について ・多良木町との児童交流事業受入日程について
定例	平成27年1月20日	(報告) ・平成26年度南空知5町就学指導委員会判定結果について ・平成27年度小中学校就学予定児童生徒数について (その他) ・平成27年度予算における教育関連主要事業について ・南幌町いじめ防止基本方針策定等について ・中学校部活動全道大会の結果について ・多良木町との児童交流学習事業(受入)について
定例	平成27年2月19日	(議案) ・平成27年度教育行政執行方針について ・南幌町教育委員会会議規則の一部を改正する規則制定について ・南幌町教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則制定について ・南幌町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則制定について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・南幌町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・南幌町教育委員会公印規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・南幌町教育委員会表彰規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・南幌町いじめ防止基本方針について</li> <li>・南幌町いじめ問題対策連絡協議会要綱の制定について</li> <li>・南幌町いじめ問題専門委員会条例制定について</li> <li>・南幌町テニスコート設置条例を廃止する条例制定について</li> <li>・南幌町テニスコート管理規則を廃止する規則制定について</li> </ul> <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度教育関係予算主要事業 (案) について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多良木町との児童交流学習事業(受入)の報告について</li> <li>・南幌小学校雪山の完成について</li> <li>・南幌町生涯学習センター愛称の決定について</li> </ul>
定例	平成 27 年 3 月 19 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回議会定例会一般質問について</li> <li>・平成 27 年度学校教職員人事異動について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助事務取扱要綱の一部改正について</li> <li>・南幌町立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・南幌町スポーツ推進委員の委嘱について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌高校振興協議会総会の開催について</li> </ul>



(2) その他の活動状況

① 学校訪問の実施

各学校の教育目標や学校経営、運営方針による教育活動を理解するとともに、施設の状況視察や授業参観を実施

平成 26 年 7 月 17 日 南幌小学校・南幌中学校

平成 26 年 11 月 28 日 南幌中学校・南幌小学校

② 南幌町教育委員会表彰

本町のスポーツ・文化その他教育の振興に功績のあった個人・団体を表彰

平成 26 年 11 月 3 日 南幌町農村環境改善センター

・教育文化功労賞

個人 広西 晃治 (南幌町スポーツ少年団本部推薦)

・教育文化奨励賞

個人 中津 和江 (南幌町教育文化表彰審査委員会推薦)

駒 朋美 (札幌龍谷学園高等学校推薦)

北崎 夏泉 (南幌高等学校推薦)

福井 純怜 (南幌町バドミントン協会推薦)

内田 琴子 (南幌小学校推薦)

鷲尾 祭 (郷土民謡研究翼声会推薦)

団体 南幌中学校男子バレーボール部 (南幌中学校推薦)

南幌中学校女子ソフトボール部 (南幌中学校推薦)

③ 教育委員・社会教育関係委員合同懇話会

教育委員と社会教育関係委員が一同に会し、生涯学習の観点に立った社会教育推進上の課題や方策について意見交換し、より充実した生涯教育の環境整備を推進する。

平成 26 年 11 月 17 日 南幌町公民館会議・研修室

参集者 教育委員・社会教育審議会委員・スポーツ推進委員

テーマ「中期推進計画の策定から今後に求められる社会教育の方向性」

④ 南幌町成人式

平成 27 年 1 月 11 日 南幌町農村環境改善センター 新成人 91 名

⑤ 各学校行事

入学式・運動会・体育祭・学校祭・学芸会・卒業式等

### 3. 教育行政執行方針に基づいた主な施策・事業の取組状況、成果・課題等

#### (1) 学校教育

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
幼児教育の推進	親同士、子ども同士が交流する場や子育てサポーターなどの身近に相談できる体制の充実	「すくすく広場」や「子育てメソッド」事業において親同士、子ども同士が交流する場を創出するとともに生涯学習サポーターの活用を図り、身近に子育ての相談ができる体制の充実に取組んだ。	各事業において生涯学習サポーターが主体的に事業の運営や身近な相談相手として関わって頂く場を創出し、地域全体で子育てを支援する環境づくりに取組むことができた。
	「私立幼稚園就園奨励事業」の補助基準の拡充	私立幼稚園就園奨励費補助金の補助基準額を国の補助基準単価へ引き上げたとともに、町外の私立幼稚園への入園・通園する幼児の保護者も事業の対象とした。	補助基準単価の引き上げや補助対象の拡充したことにより、保護者の経済的負担軽減が図られた。
確かな学力の向上について	分かる授業の実現に向けた学習指導の充実	小学校では、授業の中で反復練習の時間を確保するとともに、国語科の「書く」活動を通して、思考力・判断力・表現力を高める実践に取組んだ。 中学校では、校内研修において、全ての教師が授業力の向上を目指した指導案の検討及び授業公開を行い、子どもの理解力の程度に応じたきめ細かな指導を行った。	小学校の反復練習の成果として、基礎・基本の定着が見られたが、時間の確保の工夫が必要である。また、「書くこと」を基盤とする言語活動を重視した学習指導について、具体的な方策が重要になってくる。 中学校では、校内研修体制として、全教師が一つの授業を参観し、学校全体で協議できる体制づくりが必要である。
	思考力・判断力・表現力等を高める読書活動の充実	朝読書の取組や、町内の読み聞かせサークルによる朝の読み聞かせの定期的な実施により、読書活動の充実に取組んだ。	児童会活動として、子どもたち同士での読み聞かせ活動を行うなど、読書に興味や関心を持つ児童生徒が増えてきたことから、より一層の読書活動の充実が求められる。
	家庭との連携による望ましい生活習慣の定着と家庭学習の習慣化	家庭訪問や保護者懇談会などの機会を利用して、家庭学習の重要性を伝えるとともに、授業を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを指導した。	継続して、「早寝・早起き・朝ごはん」の指導を行うとともに、学校だよりなどを通して、家庭学習の重要性を伝えていく必要がある。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	小・中学校が連携した基礎・基本の習得に向けた学校間の交流	それぞれの学校の授業を参観し、子どもの様子や学習の状況を確認した。また、校長教頭合同会議において、それぞれの学校の学力の状況を交流した。	今後も、他校種の学校の授業参観を行うとともに、継続的な連携が必要である。
	長期休業中などにおける学習支援体制	長期休業中、小学校では、「あそびの達人特別教室」において「朝の勉強会」を行い、中学校では、3日間の学習相談を実施した。	子どもの理解の程度に応じた学習相談を実施したり、自主的な学習態度を育成するための手立てを講じて行く必要がある。
	加配教員の配置及び少人数指導・習熟度別指導事業の積極的な活用	小学校では、算数科でT T指導と習熟度別指導を行うとともに、授業だけでは充実できない言語の領域について通級指導教室に2名を配置した。 中学校では、数学科でT T指導と習熟度別指導、英語科で習熟度別指導を実施した。	個人のペースに合わせた授業を進めることで、学習内容の定着を進めることができたところであるが、習熟の程度に応じたきめ細かい指導を継続する必要がある。 また、通級指導教室の希望者が増加傾向にあり、それに対応できる継続した体制が必要である。
	社会科副読本を活用した、町の歴史や郷土を愛する気持ちを育む取組（小学校）	「ふるさと南幌」を意識し、副読本だけでなく、校外学習を含め、学年の発達段階に応じた指導計画に位置付けたふるさと教育を展開した。	副読本に加え、平成27年4月から開所した生涯学習センターの郷土資料室を積極的に活用し、生きた教材、地域の資源を利用した取組みが必要である。
	外国語指導助手（ALT）による英語指導の充実	小学校では、5・6年生の外国語活動の時間で言語を通して行うコミュニケーションの大切さ、1～4年生の総合的な学習の時間における国際理解教育で異文化の体験的理解にALTを活用した。 中学校では、ALTを活用して、聞く・話す能力の充実を図った。	小学校では、低学年からALTを活用することにより、外国語に慣れ親しむことはもちろん、生活習慣の違いなどを知り、文化等に対する理解も深まっている。 中学校では、英語を活用したコミュニケーション能力の向上に、更なる指導が必要である。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	国際社会で活躍できる人材を育成するため、「中学生国際留学プログラム事業」の実施	カナダ・バンクーバーにおいて、2週間の短期留学を実施し、その中で、南幌中学校生徒4名が、地元学校での英語レッスン及びホームステイによる生活体験を行った。	派遣生徒による「青少年健全育成を考える集い」におけるの発表や報告書の町ホームページ掲載など、研修の成果について、広く町民に伝えた。 また、本事業の参加条件である英語検定3級以上を目指し、英語検定受験者数が増加するなど、英語教科に対する自主的な学習意欲の向上が見られた。
豊かな心と健やかな体の育成について	規範意識や基本的な倫理観、命を大切にする心や思いやりの心を育む道德教育の充実	小学校では、参観日等を利用して道德の授業公開を実施した。 中学校では、道德の時間に、学習のルール必要性を考える時間を設け、規範意識や基本的な倫理観の定着を図った。	小学校では、授業公開により、家庭でも「豊かな心」を育む大切さを共通認識する機会となった。 中学校では、学校生活全般を通して、規範意識や基本的な倫理観などを継続して指導していく。
	社会性や豊かな人間性を育むための自然体験活動、ボランティア活動、キャリア教育などの体験活動	小学校では、バケツ稲や教育田、世代間交流などの学習活動を通し、生き方を探る学習を充実させた。 中学校では、総合的な学習において、計画的に体験活動を取り入れるとともに、体験活動から人との関わりを学ぶ学習を行った。	小学校では、保護者や地域の方々の積極的な協力により、働くとはどういうことかを考えるきっかけづくりとなった。 中学校では、より良い体験活動を進めるため、教師自身のための校内研修が必要である。
	いじめの未然防止、実態把握や早期発見・対処等の組織的な対応	学校において、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、そのに基づき、児童による「いじめ0宣言」の取組やいじめ調査、教育相談を実施したとともに、「いじめ防止等の対策のための組織」を設置し、組織的な体制を構築した。	「いじめは、いつでもどこでも起きる」ことを認識し、機会を捉えて継続的に指導していくとともに、関係機関が連携しいじめ防止のための組織的な取組が必要である。
	いじめのない学校づくりに向けた、子どもたちが主体とする仲間づくり「子ども会議」等の取組	小・中・高校生の児童生徒を主体とした、いじめ防止の取組として仲間づくり「子ども会議」を実施し、「いじめ・ネットトラブルの根絶」をテーマとしたポスターを作成し、各学校・公共施設に掲示し啓発を行った。	今後においても、小・中・高生が交流した中で、「いじめの根絶」に向けた取組として仲間づくり「子ども会議」を継続して実施し、この会議での成果により啓蒙活動を行っていく。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	スクールカウンセラーによる児童生徒の悩みに応えるための実態把握と心のケア	スクールカウンセラーが、週1回、学級に入れない子どもや保護者のカウンセリングを行うとともに、関わる教職員と指導方法の情報交流を行った。	カウンセリングにより、登校日数の改善などが見られたように、今後も学校だよりなどで、カウンセリングの効果を生徒や保護者に伝えていく必要がある。
	「心のノート＝私たちの道徳」の活用	「教科書同様に使用する」ことを全教職員で確認し、児童生徒には家庭に持ち帰らせて、保護者の目にも触れる機会を設けた。	道徳の時間で、一層有効に活用していけるよう、教材研究を進め、指導計画に位置付けていく。
	不登校・問題行動に対する相談・指導体制の充実	学級担任や生活指導担当者による日常的な状況把握と、管理職を含めた組織的な対応の体制を整備した。また、小・中・高生徒指導連携会議により、不登校・問題行動の児童生徒の情報交流を行うなど、校種間の連携を図った。	今後も、家庭訪問や関係機関と連携を図りながら、相談・指導体制を充実させる必要がある。
	体罰の実態把握と防止の取組	学校管理職を中心に、体罰防止の指導をするとともに、授業や部活動を見回り、教師一人一人に指導を行った。	職員会議や校内研修の中で、管理職から体罰防止の指導を行うとともに、教師同士で声を掛け合える体制をつくる必要がある。
	体力・運動能力の向上と健康に対する意識の醸成	小学校では、新体力テストの実施及び運動会やマラソン大会などの練習時間確保に取り組んだ。 中学校では、体育の時間を活用し、体を動かすことの楽しさを伝えた。	新体力テストの結果を活用し、授業での体力向上の取組に生かすことができた。引き続き、体を動かすことの大切さや楽しさを伝えていく必要がある。
	「フッ化物洗口」の実施	児童生徒の虫歯予防に効果のある「フッ化物洗口」を小中学校において、週1回、全学年で実施した。	フッ化物洗口の実施率は小学校が94.8%、中学校が76.6%であった。 フッ化物洗口の効果は、数年かかることから、継続して実施する必要がある。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	学校給食における基幹作物に対する理解を深める取組と給食用米の全額町費負担の実施	南幌産ななつぼし使用による給食用米の全額町費負担を実施した。地場産食材の使用拡大について、検討協議を進めた。	給食用米の全額町費負担により、保護者の経済的負担軽減が図られた。また、地場産食材の活用に関し、南幌産秋まき小麦を使用した食材や南幌産野菜を供給することができた。
開かれた学校づくりと教育活動の改善について	学校関係者評価委員会による評価結果の公表	学校の自己評価や保護者等による評価を実施し、その結果を学校だよりやホームページで広く公開することにより学校運営の改善に生かした。	引き続き、評価結果を公表するとともに、改善が必要な箇所は、スピーディーに解決していく必要がある。
	公開研究会の実施及び学校だより等による情報提供	今年度は、中学校において公開研究会を実施し、授業を公開した。また、月1回、全戸に学校だよりを回覧し、学校や子どもの様子などを情報提供した。	引き続き、公開研究会を行い、教師の授業力の向上を図るとともに、保護者や地域の方の学校に対する協力意識の向上につなげるため、多くの方が参観できる工夫をしていく必要がある。
	自主的・主体的な課題解決力を身に付ける総合的な学習活動の充実	小学校では、地域の教育資源を活用し、体験的な活動を通して、「ふるさと南幌」を児童自らが考える教育に取り組んだ。 中学校では、子どもの発達段階にあわせた総合的な学習の年間指導計画のもとに、自ら課題を見つけ解決しようとする力を身に付ける指導を行った。	小学校では、教科で培った力を生かして、「ふるさと南幌」について自ら課題を設定し、自ら解決していく児童の姿が見ることができた。 中学校では、引き続き、総合的な学習で学んだことを日常の生活で生かしていけるような工夫をする必要がある。
	通常学級に在籍している困り感のある児童生徒に対する、きめ細やかな指導及び支援	専門機関との連携を密にするとともに、特別支援教育コーディネーターを中心に「学びの支援」として一人一人の子どもに寄り添う教育の実現に向けて組織的に対応した。また、学習支援員を配置による、理解に時間のかかる子どもに対しての支援を行った。	特別支援教育コーディネーターを中心に「学びの支援」として、組織的な体制づくりを行い、個に応じた教育の実施に取り組むことができた。 引き続き、学習支援員を活用し、聞く力のない子どもや理解に時間のかかる子どもに対して支援する必要がある。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
教育環境・教育施設の充実について	「南幌町高校生通学費補助事業」の実施	自宅から高等学校へ通学に要する公共交通機関の通学定期券購入費の2分の1（月額上限1万円）を助成し、生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。	交付対象者の支給率は82.0%であり、申請者も3ヶ月毎の支給月にあわせてまとめた申請や、長期定期券を購入するなど効率的になっており、制度の定着が見られる。
	就学援助事業の援助項目の拡大	国で掲げている就学援助項目と照らし合わせ、新たにPTA会費、生徒会費、クラブ活動費を追加した。	援助項目を拡大したことにより、準要保護世帯の経済的負担軽減を図ることができた。
	南幌中学校の耐震補強と大規模改修に向けての実施設計	平成19年度実施した学校施設の耐震診断（2次診断）の結果により行う南幌中学校校舎の耐震補強工事と大規模改修工事に向けた実施設計を行った。	実施設計を基に、平成27年度において、地方負担に有利な国庫補助や地方債の財源確保を行った上で、南幌中学校の耐震補強及び大規模改装工事を行う。
	旧学校施設から取り外したPCB使用安定器等の廃棄物処理	PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、ポリ塩化ビフェニル廃棄物（蛍光灯安定器）の適正な処分を行った。	今年度の処分により、旧学校施設からのポリ塩化ビフェニル廃棄物は全て処理された。
南幌高校に対する支援	南幌高校振興協議会を通じた魅力ある学校づくりの取組に対する支援	南幌高校の生徒数減少などに対応するため、魅力ある高校づくりに向け取組む、広報、文化、インターンシップ等の進路活動及び地域との連携に対する支援（交付金）を行った。	少子化による生徒数の減少及び間口確保の対策として、今後も引き続き、地域から信頼され、魅力ある高校づくりに取組む活動に対して、支援する必要がある。
姉妹町児童交流の推進	熊本県多良木町との児童交流学習事業	両町それぞれ、訪問団15名（児童10名・引率者5名）が参加し、7月に多良木町を訪問し、2月に多良木町からの訪問団を受入れ、町を挙げての家族ぐるみの交流を深めた。	訪問団の募集時に22名の応募があり、抽選により派遣児童を男子5名・女子5名を決定するなど事業の浸透が見られた。受入時には、各団体や保護者の協力もあり充実した交流内容となった。

(2) 社会教育

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
家庭や地域の教育力の向上について	子育てを支援する学習環境の整備や家庭教育に関する情報提供の充実	「すくすく広場」や「親学講座」などにおいて、読み聞かせや体力づくり、講演などの学習機会を提供するとともに講師やサポーターと保護者が情報交換する場を提供することにより家庭教育に対する情報の提供を行った。	「親学講座」では、入学説明会の学校行事に合わせて実施し、より多くの保護者の参加を募ることができ、子育て支援の学習環境の整備が図られた。今後は、乳幼児を持つ保護者を対象とした学習講座を検討し、情報提供の充実を図る必要がある。
	読み聞かせサークルと協力した子育て支援活動の充実	読み聞かせサークルの協力のもと「ブックスタート」事業や「出張読み聞かせ」事業において、幼児期における家庭での読み聞かせの重要性などを学習する機会を提供した。また、子ども達への読み聞かせなどを通じて情操を高めることで子育て支援の充実に努めた。	出張読み聞かせは、身近な場所で読書に触れる機会を提供でき、より多くの子ども達へ本に親しんでもらえる機会として拡充でき、情操教育の向上を図ることができた。今後は保育園のみではなく、幼稚園においても希望を調査し、訪問先を増やすことで子育て支援活動の充実に努める必要がある。
	生涯学習サポーターの効果的な活用を図った児童・生徒の学習や学校の環境整備等の充実	「学校支援地域本部」を主体として陶芸や水泳、スキー、柔道などの学校授業への協力や朝の読み聞かせに取組み学習環境の充実に努めた。	「学社融合推進委員会」を通じて学校と地域が連携した学習環境の充実に努めた。
青少年教育の推進について	社会性や創造性を育む多様な学習機会の確保と充実	「放課後子ども教室」や「週末支援子ども教室」など、多様な文化活動やスポーツ活動を体験する機会を生涯学習サポーターの活用を図り、実施した。	生涯学習サポーターの活用を図り、地域住民が子ども達と交流することで多様な学習活動の機会を確保し、社会性や創造性を育む機会となった。



主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	家庭・学校・地域や関係機関が連携し、総がかりで青少年を育てる環境の充実	青少年健全育成協議会やPTA連合会と連携し「青少年健全育成を考える集い」や「子どもたちのネットモラルを考える集い」を実施し、青少年の健全育成に対する意識の啓発に努めた。また、子ども会育成連絡協議会と連携し、年間を通じ子どもリーダー事業を実施し、子ども達の社会性や指導力の育成を図り、次代を担うリーダーの養成に努めた。	「青少年健全育成の集い」は講演の他に「中学生国際留学プログラム事業」の報告もあり、例年よりも多い参加人数となった。「子どもたちのネットモラルを考える集い」については、身近な問題として認識が薄く、参加者が少なかったため、今後も啓発に向けた周知方法、内容についての検討が必要である。 リーダー養成事業については、高学年、中学生の参加が少なく、低学年の参加に合わせたプログラム内容等の見直しが必要である。
成人教育の推進について	町民が自主的・主体的に興味をもって参加し、学ぶことのできる取り組みへの支援	「さわやかカレッジ」や「ふるさと南幌みらい塾」の実施に際し、参加者からのアンケート結果や自治会、運営委員会と協議を行い、魅力ある事業内容となるよう企画・検討し開催した。	「さわやかカレッジ」では自治会役員を中心に運営し、学生が主体的に学ぶ意識の向上を図ることができた。 「ふるさと南幌みらい塾」では、運営委員会により企画・運営を行っているが、多様化するニーズに応え、新たな目線での、講座内容を検討するため、運営委員の拡充が必要である。
	新たな地域人材の発掘と活用による多様な学習機会の創出と子どもたちと地域との交流の促進	既存のスポーツ団体や文化団体へ生涯学習サポーターへの登録勧奨を行い新たな人材の発掘に努めた。	「南幌太鼓」や「南幌音頭」を披露する場を「あそびの達人教室」で設けるなど、多様な学習と地域との交流を促進することができた。
芸術・文化活動の推進について	幼児・児童を対象とした優れた芸術と郷土芸能に触れる機会の提供	幼児を対象とした幼児芸術鑑賞会と小学生を対象とした児童芸術鑑賞会を実施し、優れた芸術に触れる機会を提供した。また、児童芸術鑑賞会において「なんぼろ俵積み唄」を披露し、郷土芸能に触れる機会を提供した。	芸術鑑賞会の機会を通じて、優れた芸術に触れる場を提供するとともに子ども達が郷土芸能に広く、触れる機会を提供することができた。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	自主的かつ創造的な芸術・文化活動の推進・充実	町民芸術鑑賞会や町民総合文化展、芸能発表会などの実施に際し、各文化団体の自主性を保ちながら相互に協力し、事業を実施した。	文化協会と連携を図り、より多くの町民に芸術鑑賞や発表する機会を設け、文化・芸術に触れる機会を提供することができた。
	郷土芸能の伝承活動の支援	文化協会との連携、協力を図り、講習会の開催や各事業、催事などにおける出演の場を提供し、伝承する機会の拡充に取組んだ。	各事業や催事において出演の場を提供することにより、多くの町民に郷土芸能に対する認識を広めることができた。
スポーツ活動の振興について	親子・小学生を対象としたスポーツ教室や中高年を対象とした体力づくり教室、各種大会の開催	キッズスポーツや水泳、エアロビクス教室に加えて冬期間におけるスポーツの奨励のため、室内パークゴルフコースを設定し、幅広い年齢層に対して運動の機会を提供した。	中高年を対象とした教室においてアンケートなどの意見を参考に一部プログラムメニューの見直しを行ったことにより、参加者の増加につながった。今後も参加者のニーズを把握し、より多くの町民が参加しやすい環境づくりが必要である。
	各スポーツ団体と連携した生涯スポーツの推進	体育協会やスポーツ少年団本部、地域スポーツクラブなどに対し、事業連携や広報活動に対する指導・助言を行うとともに活動助成を行いスポーツ振興に取組んだ。	スポーツ団体は、少子高齢化などにより会員数が減少傾向にあり、運営が以前に比べ困難な状況となってきたことから関係団体等と、より一層連携協力し、スポーツ振興を図ることが必要である。
	社会体育施設の利便性の向上	町営プールの老朽化に伴い新たな町民プール建設に向けた基本設計、実施設計の業務を関係課と連携し、実施した。	関係課と連携し、基本設計業務の受託者をプロポーザル方式で選定するなど幅広い層の町民が利用可能なプール建設に向けた検討協議に取組むことができた。
社会教育関係施設の整備について	南幌町生涯学習センターの整備	旧南幌小学校の跡利用計画に基づき耐震改修等工事を行い、公民館及び図書館機能などを有した南幌町生涯学習センターとしての機能整備を行った。	平成26年度中に予定していたすべての工事を完了するとともに、公民館からの機能移転についても計画どおり完了することができた。今後は、利用促進に向けた環境整備の検討が必要である。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	安全性と利便性の向上を目指した改修工事の実施	農村環境改善センター耐震等改修工事（建築・電気・機械設備）及び三重レークハウス水洗化工事（浄化槽設置工事）を行い安全性と利便性の向上に努めた。	農村環境改善センター耐震等改修工事については予定どおり完了し、利便性と安全性の環境を整備することができた。 三重レークハウストイレ水洗化工事は、施設の衛生環境が整い、利用者の増加につながった。今後も計画的に修繕等を行い、利用の促進を図ることが必要である。

#### 4. まとめ

この点検・評価の実施をもとに、検討と改善を図り、施策及び事業の効果的な実施に努め、より充実した教育行政の実現を目指します。